

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年2月14日
【四半期会計期間】	第135期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）
【会社名】	株式会社ブルボン
【英訳名】	BOURBON CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 吉田 康
【本店の所在の場所】	新潟県柏崎市松波四丁目2番14号
【電話番号】	0257(23)2333番
【事務連絡者氏名】	常務取締役 財務管理部長 山崎 幸治
【最寄りの連絡場所】	新潟県柏崎市松波四丁目2番14号
【電話番号】	0257(23)2333番
【事務連絡者氏名】	常務取締役 財務管理部長 山崎 幸治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第134期 第3四半期 連結累計期間	第135期 第3四半期 連結累計期間	第134期 第3四半期 連結会計期間	第135期 第3四半期 連結会計期間	第134期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	74,826	74,909	27,637	27,745	102,179
経常利益(百万円)	2,542	1,700	1,540	889	3,585
四半期(当期)純利益(百万円)	998	361	833	505	1,559
純資産額(百万円)			31,675	32,226	32,356
総資産額(百万円)			61,630	62,843	62,401
1株当たり純資産額(円)			1,313.15	1,336.13	1,341.38
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	47.61	15.00	34.56	20.97	71.67
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)					
自己資本比率(%)			51.40	51.28	51.85
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	3,879	1,426			6,638
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	2,146	2,952			2,659
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	1,632	890			1,316
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(百万円)			6,303	6,425	8,858
従業員数(人)			3,984	3,880	3,899

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成22年12月31日現在

従業員数（人）	3,880	(1,017)
---------	-------	---------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第3四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成22年12月31日現在

従業員数（人）	3,305	(834)
---------	-------	-------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第3四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ）の事業は、食品製造企業として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類等の菓子及び飲料食品等の食料品の製造・販売並びにこれらの付随業務であり、単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、区分別に記載しております。

(1) 生産実績

区分別	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	前年同四半期比(%)
菓子(百万円)	24,665	99.7
飲料・食品・その他(百万円)	2,030	102.3
合計(百万円)	26,695	99.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

区分別	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	前年同四半期比(%)
菓子(百万円)	25,701	99.8
飲料・食品・その他(百万円)	2,044	107.8
合計(百万円)	27,745	100.4

- (注) 1. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社山星屋	3,028	11.0	3,521	12.7

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国の需要による企業業績の回復や設備投資の増加など一部に緩やかな景気回復傾向が見られたものの、欧米の景気減速化や急激な円高の進行などにより外需効果が薄れるとともに、厳しい雇用環境やデフレ状況にも改善が見られず、先行きの不透明感が増す状況で推移いたしました。

菓子、飲料、食品業界は、所得の伸び悩みによる先行き不安から慎重な消費行動が続き、低価格・節約志向により個人消費は本格的な回復には至りませんでした。

当社グループは、食品製造企業として、安全・安心・安定および健康を基とした品質保証第一主義に徹し、顧客満足度を高める活動を推進してまいりました。消費者の生活防衛意識による厳しい商品選別が続くなか、市場のニーズに機敏かつ柔軟に対応し、実質価値の高い商品と消費者ニーズにお応えしたサービスの提供、需要を喚起する積極的な企画提案型営業活動の実施に努めてまいりました。その結果、記録的な猛暑や残暑により菓子類の需要は影響を受けたものの、夏季商材のデザート品目が伸張するとともに、第3四半期に発売した新製品の中で好評をいただいたものがありました。豆菓子品目、キャンデー品目、デザート品目、米菓品目、食品品目が伸張するとともに、ビスケット品目、チョコレート品目が前年同期並みの推移となり、売上高は前年同期を若干上回りました。

しかし、収益面では当初の見込み以上に原材料価格やエネルギーコストが上昇したこと、販売競争激化に伴う販促活動の強化を図ったことなどにより営業利益、経常利益、四半期純利益とも前年同期を下回りました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は25,701百万円（対前年同期比99.8%）となりました。

ビスケット品目は、新製品を加えたファミリーサイズ商品群、品揃えの充実を図ったギフト商品群などに好評をいただき、猛暑、残暑の影響が残ったものの前年同期並みの推移となりました。

豆菓子品目は、リニューアルした「チーズDeおつまみ」、受験生応援商品などの催事企画商品が好評をいただき前年同期を上回りました。

キャンデー品目は、新形状・新食感のグミ商品「フェットチーネグミ（シチリアレモン味）」「フェットチーネグミ（イタリアングレープ味）」や販売ルート限定商品などが好調に推移し前年同期を大きく上回りました。

デザート品目は、記録的な猛暑や残暑が好調要因となったことに加え、ソースを充填した二層仕立てのデザート、ソースINデザートシリーズの新味を発売、食後の0（ゼロ）kcalシリーズなどが伸張し、前年同期を大きく上回りました。

米菓品目は、季節の味を加えたチーズおかき、柿の種をチーズクリームやチョコレートで包んだ特徴ある商品などに好評をいただき前年同期を上回りました。

スナック品目は、ハロウィンやクリスマスなどをテーマにしたキャラクターデザインのポテトチップを展開、販売ルート限定商品にも取り組んだものの既存品が伸び悩み前年同期を下回りました。

チョコレート品目は、スリバードアーモンドとクランチアーモンドをミルクチョコレートにぎっしりちりばめた「アーモンドラッシュ」が秋の発売以来、好調に推移いたしました。残暑の影響を受けたものの前年同期並みの推移となりました。

チューインガム品目は、3種類の味が楽しめる粒ガム、アソート3シリーズの品揃え強化やキューブ型のフルーツボトルガム「キュービィロップガムボトル」の展開を図りましたが既存品の伸び悩みにより前年同期を下回りました。

飲料・食品・その他の合計売上高は2,044百万円（対前年同期比107.8%）となりました。

飲料品目は、ホット専用の果汁飲料ホットベリーや牛乳でおいしくホットなココアなどの展開を図りました。健康志向飲料「酢てきスタイル125m」は伸張したもののミネラルウォーターは伸び悩み、競争激化のなか全体では前年同期を下回りました。

食品品目は、家庭内需要の高まりにより、ミルクココア商品が伸張するとともに、和風ココアシリーズのしょうがココアなどに継続した支持をいただき、前年同期を大きく上回りました。

特に機能性食品は、引き続きカロリーの質に着目したバランス栄養食品のスローバーシリーズの展開に取り組みました。

その他品目では、通信販売事業は、催事企画商品の展開や企画提案の強化などに取り組み、継続した支持をいただきました。自動販売機事業は、多様な商品を総合的に取り扱うプチモールの設置台数の増加に伴い伸張いたしました。また、酒類販売事業は卸売免許を取得いたしました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は27,745百万円（前年同期比100.4%）、営業利益は910百万円（前年同期比60.8%）、経常利益は889百万円（前年同期比57.8%）、

四半期純利益は505百万円（前年同期比60.7%）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは1,296百万円の収入（前年同期2,202百万円の収入、対前年同期比58.9%）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益975百万円と減価償却費951百万円とがあったことと法人税等の支払額439百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは811百万円の支出（前年同期571百万円の支出、対前年同期比141.9%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出774百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは321百万円の支出（前年同期229百万円の支出、対前年同期比139.9%）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出122百万円と配当金の支払額149百万円とがあったことによるものです。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前第3四半期末に比べ121百万円増加し、6,425百万円となりました。また、前連結会計年度末に比べ2,433百万円の減少となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ会社の研究開発活動の金額は、226百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)				
提出会社	上越工場 (新潟県上越市)	菓子製造設備	275	38	自己資金	平成22年 11月	平成23年 4月	(注1)

(注) 1. 品質改善のための投資であり、完成後の生産能力に重要な影響を及ぼすものではありません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成22年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成23年2月14日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	27,700,000	27,700,000	東京証券取引所市場第二部	単元株式数 1,000株
計	27,700,000	27,700,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成22年10月1日～ 平成22年12月31日		27,700,000		1,036		52

(6)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成22年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成22年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式（自己株式等）			
議決権制限株式（その他）			
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 3,193,000		
	（相互保有株式） 普通株式 1,665,000		
完全議決権株式（その他）	普通株式 22,741,000	22,741	
単元未満株式	普通株式 101,000		1単元（1,000株）未満の株式
発行済株式総数	27,700,000		
総株主の議決権		22,741	

【自己株式等】

平成22年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（％）
株式会社ブルボン	柏崎市松波四丁目2番14号	3,193,000		3,193,000	11.52
北日本興産株式会社	柏崎市駅前二丁目3番51号	1,055,000		1,055,000	3.80
北日本羽黒食品株式会社	柏崎市松波四丁目2番14号	604,000		604,000	2.18
ブルボン興業株式会社	柏崎市松波四丁目2番14号	6,000		6,000	0.02
計		4,858,000		4,858,000	17.53

（注）当第3四半期会計期間末の自己名義所有株式数は、4,858,000株であります。

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 4月	平成22年 5月	平成22年 6月	平成22年 7月	平成22年 8月	平成22年 9月	平成22年 10月	平成22年 11月	平成22年 12月
最高（円）	941	939	930	959	955	975	972	995	993
最低（円）	911	911	909	917	920	940	930	956	937

（注）最高・最低株価は東京証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,415	8,849
受取手形及び売掛金	14,079	12,444
有価証券	10	9
商品及び製品	3,665	3,144
仕掛品	488	443
原材料及び貯蔵品	2,585	2,390
その他	1,786	1,833
貸倒引当金	137	175
流動資産合計	28,893	28,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,515	8,236
機械装置及び運搬具(純額)	9,049	8,794
その他(純額)	7,599	7,513
有形固定資産合計	25,164 ₁	24,544 ₁
無形固定資産		
のれん	2,157	2,266
その他	474	530
無形固定資産合計	2,631	2,797
投資その他の資産		
その他	6,160	6,289
貸倒引当金	7	169
投資その他の資産合計	6,152	6,120
固定資産合計	33,949	33,462
資産合計	62,843	62,401

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,605	9,118
短期借入金	2,385	2,447
未払法人税等	214	1,330
賞与引当金	318	917
返品引当金	92	79
その他	8,032	7,419
流動負債合計	21,648	21,312
固定負債		
長期借入金	1,534	1,905
退職給付引当金	6,105	5,527
役員退職慰労引当金	162	162
資産除去債務	16	-
負ののれん	32	33
その他	1,116	1,105
固定負債合計	8,967	8,733
負債合計	30,616	30,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	7,386	7,386
利益剰余金	24,863	24,824
自己株式	577	575
株主資本合計	32,708	32,671
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	308	180
為替換算調整勘定	173	134
評価・換算差額等合計	482	315
純資産合計	32,226	32,356
負債純資産合計	62,843	62,401

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	74,826	74,909
売上原価	43,607	43,892
売上総利益	31,218	31,016
販売費及び一般管理費	28,624	29,152
営業利益	2,594	1,864
営業外収益		
受取利息	23	14
受取配当金	51	54
負ののれん償却額	0	1
その他	84	66
営業外収益合計	158	137
営業外費用		
支払利息	40	36
減価償却費	51	43
為替差損	94	210
その他	23	10
営業外費用合計	210	300
経常利益	2,542	1,700
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	113
その他	-	16
特別利益合計	-	129
特別損失		
固定資産処分損	45	36
減損損失	10	7
投資有価証券売却損	75	-
退職給付制度改定損	-	521
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	21
その他	-	90
特別損失合計	131	677
税金等調整前四半期純利益	2,411	1,153
法人税、住民税及び事業税	1,061	758
法人税等調整額	151	32
法人税等合計	1,212	791
少数株主損益調整前四半期純利益	-	361
少数株主利益	200	-
四半期純利益	998	361

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	27,637	27,745
売上原価	15,664	16,176
売上総利益	11,972	11,569
販売費及び一般管理費	10,475	10,659
営業利益	1,497	910
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	19	21
負ののれん償却額	0	0
為替差益	19	-
その他	20	18
営業外収益合計	66	45
営業外費用		
支払利息	12	10
減価償却費	8	12
為替差損	-	41
その他	3	0
営業外費用合計	24	65
経常利益	1,540	889
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	175
その他	-	15
特別利益合計	1	191
特別損失		
固定資産処分損	5	11
減損損失	0	2
投資有価証券売却損	75	-
投資有価証券評価損	45	3
債務保証損失	-	87
特別損失合計	35	105
税金等調整前四半期純利益	1,505	975
法人税、住民税及び事業税	276	182
法人税等調整額	396	287
法人税等合計	672	469
少数株主損益調整前四半期純利益	-	505
四半期純利益	833	505

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,411	1,153
減価償却費	2,572	2,621
のれん償却額	49	109
受取利息及び受取配当金	74	69
負ののれん償却額	0	1
支払利息	40	36
為替差損益(は益)	95	229
固定資産処分損益(は益)	45	36
減損損失	10	7
投資有価証券売却損益(は益)	75	15
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	21
売上債権の増減額(は増加)	1,902	1,649
たな卸資産の増減額(は増加)	728	768
仕入債務の増減額(は減少)	862	1,502
賞与引当金の増減額(は減少)	521	598
その他	1,039	621
小計	5,431	3,235
利息及び配当金の受取額	70	69
利息の支払額	40	35
法人税等の支払額	1,582	1,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,879	1,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,186	2,914
投資有価証券の取得による支出	132	131
投資有価証券の売却による収入	205	53
その他	32	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,146	2,952
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	1,000	25
長期借入金の返済による支出	341	407
配当金の支払額	188	316
その他	102	141
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,632	890
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	16
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	97	2,433
現金及び現金同等物の期首残高	6,206	8,858
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,303	6,425

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ4百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は26百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は16百万円であります。

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
(四半期連結損益計算書)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
(四半期連結損益計算書)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
(退職給付引当金)	当社及び一部の国内連結子会社は、確定拠出年金法の施行に伴い、平成23年4月に適格退職年金制度の全部について確定拠出年金制度への移行が確定したため、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。 本移行に伴う影響額は、当第3四半期連結累計期間の特別損失として521百万円計上しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1.有形固定資産の減価償却累計額は、47,585百万円であります。	1.有形固定資産の減価償却累計額は、45,996百万円であります。
2.	2.偶発債務 下記会社のリース会社等に対する債務に対し、債務保証を行っております。 上原酒造株式会社 90百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な項目及び金額 販売促進費 16,433百万円	販売費及び一般管理費のうち主要な項目及び金額 販売促進費 17,330百万円

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な項目及び金額 販売促進費 6,240百万円	販売費及び一般管理費のうち主要な項目及び金額 販売促進費 6,607百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) (百万円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在) (百万円)
現金及び預金勘定 6,295	現金及び預金勘定 6,415
有価証券勘定 8	有価証券勘定 10
現金及び現金同等物 6,303	現金及び現金同等物 6,425

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 27,700,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 3,580,563株

3. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	167 (注1)	7	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金
平成22年10月27日 取締役会	普通株式	155 (注2)	6.5	平成22年9月30日	平成22年12月7日	利益剰余金

(注) 1. 連結子会社が保有する自己株式にかかる配当金を控除しております。なお、控除前の金額は171百万円でありませ

す。
2. 連結子会社が保有する自己株式にかかる配当金を控除しております。なお、控除前の金額は159百万円でありませ

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)において、当社グループは食品製造企業として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類、飲料食品等の製造、販売を行っております。当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)における海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)における当社グループの事業は、食品製造企業として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類等の菓子及び飲料食品等の食料品の製造・販売並びにこれらの付随業務であり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額	1,336.13 円	1,341.38 円

2. 1株当たり四半期純利益金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 47.61円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 15.00円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益(百万円)	998	361
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	998	361
期中平均株式数(千株)	20,979	24,120

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 34.56円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 20.97円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益(百万円)	833	505
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	833	505
期中平均株式数(千株)	24,122	24,119

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成22年10月27日開催の取締役会において、第135期の中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当金総額 159百万円

1株当たりの金額 6円50銭

支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成22年12月7日

(注) 平成22年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年2月9日

株式会社ブルボン
取締役会御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 芳 幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 尻 慶 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ブルボンの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ブルボン及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年2月9日

株式会社ブルボン
取締役会御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 芳 幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 尻 慶 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ブルボンの平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ブルボン及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。